

なりわい再建支援補助金の活用事例

株式会社角田商店（石川県鳳珠郡能登町）

<ポイント>営業再開を悩みながらもなりわい補助金を活用し再開



外観



惣菜コーナー



床の傾きで隙間が空いた間仕切り壁



修繕後の間仕切り壁

会社概要

- 住所 石川県鳳珠郡能登町字宇出津新149
- 連絡先 0768-62-1132
- 代表取締役 角田 喜一郎
- 事業内容 小売業
- 自社のPRポイント

手の込んだ惣菜や弁当を毎朝店内で手づくりし、できたてを販売しています。また、能登牛やとれたての魚もおすすめです。

被災時及び復旧後の状況

- 店内の床に亀裂が入り、波打つように傾き、間仕切り壁や扉に隙間ができました。また、棚やショーケースが転倒しました。
- 令和6年1月6日にいち早く営業を再開しました。修繕工事は同年5月から1年の工期で売り場の1階部分を優先に実施しました。その後、売り場以外の工事に取りかかりました。
- はじめは営業を再開することに不安がありましたが、今は営業できるほどに修繕も完了し、お客様にこだわりの惣菜や弁当等を提供できています。また、社員の雇用も維持できました。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- 令和6年の3月になりわい補助金の存在を知り、従前から店舗の工事などを依頼していた建築士の方に相談して書類の用意を手伝ってもらいました。
- 令和6年6月からはのと里山空港の事業者相談センターに通いサポートを受け、同年12月に申請に至りました。
- 工事が、令和7年7月に完了すると同時に実績報告を無事提出できました。実績報告も多くの方の力を借り、作成しました。

事業者からのメッセージ

- はじめはお店を再開できるか悩みましたが、お客様からの感謝の言葉や店内BGMを聞いて涙するお客様を見て、「皆、普通の生活に戻りたがっている」と思い、普通の生活の一部である自分達の存在意義を感じ、営業を継続しています。
- なりわい補助金で資金面の補助が受けられたことも事業継続を決意できた理由のひとつです。
- なりわい補助金の申請相談は、のと里山空港の他、近くの商工会、商工会議所でも可能ですので、一人で悩まず相談しましょう。